



岡山県 牛窓の夜明け Photo by S.YAMAOKA

ごあいさつ「新年を迎えて」

代表取締役社長 川西 勝三

Yamato 研修会

展示会

JAPAN PACK 2003



PACK EXPO 2003



新商品紹介

プリンタ付高精度型体脂肪計 DF820

デジタル台はかり DP-6301

デジタル式上皿自動はかり UDS-1V

ラベルプリンタ SP-509シリーズ

オーガ充填機 FGL(P)-014AA

オートチェッカ CUH60F



「総額表示方式」がスタート

ヤマトハカリシステム(株)紹介



Yamato



代表取締役社長
川西 勝三

「新年を迎えて」

あけましておめでとうございます。

昨年は、イラク戦争とそれに引き続く混乱など国際政治が激動する中で、国内においてはりそなグループの破綻に代表される経済環境の低迷が続く一方で、株価の上昇に見られるような景気回復の兆しも見えた1年でした。国内政治における「構造改革」は、これからその実体が明らかになるところですが、巨額の財政赤字や少子高齢化への対応等、重要な課題を数多く抱える中で、早く改革の成果が出て来ることを期待したいと思います。

日本経済は、高度成長とバブルの崩壊、その後の「失われた10年」を経て、未だに立ち直ったとは言えない状況です。その過程の中で、生産高/売上高の大小のような事業規模で企業を評価する過去の価値観は姿を変え、利益を稼ぐ構造、すなわちROA(総資産利益率)に代表される指標で評価されるようになり、キャッシュフロー経営という考え方も広く浸透しています。

当社は、この10年間で経営スタイルを大きく変化させ、売上至上主義から脱却し、少数精鋭体制で成長市場に集中する、という経営に徹して来ました。すなわち、ハイテク製品によってグローバル市場へビジネスを展開する、という戦略を推し進め、その結果、**Yamato**のブランドを世界に浸透させることができました。また、財務体質の強化という面においても、5年間で借入金を半減させる成果を上げています。

このような経営は、単なるリストラ、少数精鋭化という言葉だけで評価されるべきものではありません。企業は、常にマーケットが動くこと、お客様のニーズが変化することに対応しなければならず、トップレベルの技術力という裏付けを持ち、変化への対応を少数精鋭体制で柔軟に行える企業構造こそが決定的に重要だと考えています。企業のリストラによって国内のマーケットが縮小して行くこと、生産における過剰構造の修正は避けられませんが、当社は国際化のステップを着実に歩んでおり、成果を上げております。少数精鋭による時代の変化への対応という思想のもとに、これからも企業体質をより強化するとともに、技術力の更なる強化・高度化という課題に積極的に取り組んでいきたいと考えております。

それを通じて、お客様に満足いただくとともに、計量・計測という社会活動の基本となる分野で社会に貢献し、企業価値を高める、という強い信念のもと、今後とも頑張っていきたいと存じます。

本年もなお一層のご支援とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

2004年元旦

2003年度 Yamato 研修会を開催

2003年度 **Yamato** 研修会を10月1日に神戸北野ガーデンにて、全国の有力販売店様38社のご参加を賜り、盛大に開催いたしました。

開会宣言・社員紹介の後、川西社長より2002年度売上げ拡大にご尽力頂いた販売店様に心よりの感謝を込め、感謝状と記念品を贈呈させて頂きました。

そしてご出席各社のご代表として、株式会社加賀 加賀社長様より謝辞を頂きました。

また、特別表彰の各賞につきましても、2002年度弊社の営業政策の展開と売上の向上に最も顕著な貢献を頂いた販売店様に対し、感謝を込めて表彰させて頂きました。

次に長谷川営業担当常務取締役より、2003年度営業方針を発表致しました。

Yamatoは「真のグローバル企業」を目指すと共に、21世紀の新しいビジネスモデルの構築に取り組み、「**Yamato** ブランド価値の向上」と「顧客の信頼の向上」を勝ち取る戦略である旨ご説明致しました。

また、全国のヤマト会組織の見直しを含め、時代の流れに即した販売店様との新しいパートナーシップを構築したい旨ご提案いたしました。

新商品展示コーナーでは、成長分野をターゲットとした新商品のビジネスチャンスをより具体的にご理解頂けるように、健康関連機器 / 普通はかり / 産機・自動機器製品の3つのコーナーに分けてそれぞれの新商品を展示発表いたしました。

研修会の後、同クラブ内のディナーショー会場において、皆様の日頃のご愛顧に感謝する懇親会を開催致しました。

会場では、Yamato Music Festival vol.3と題し、恒例の弊社社長の演奏も加えたジャズバンドによるセッションと幻想的なインド音楽やクラシック音楽の演奏を楽しんで頂き、大変な盛り上がりの中に終わりました。

翌2日は、伝統ある立杭焼の作陶体験ツアー組とゴルフ組に分かれ、それぞれお楽しみいただくと同時にお互いの親睦を深めて頂きました。

2日間にわたる研修会・懇親会・観光を無事終了することができました事は、ご参加頂きました皆様のご協力の賜と深く感謝致しております。



JAPAN PACK 2003

2年毎に開催されます、(社)日本包装機械工業会主催の2003日本国際包装機械展(JAPANPACK 2003)が昨年(2002)の10月21日から25日の5日間、東京国際展示場(東京ビッグサイト)で開催されました。前回同様の規模にあたる東1～6ホールが本展示会に充当され、海外企業を含め374社が出品しました。

当社は、エントランスホールの動く歩道の左サイドに連続20基のブラカードを並べ、ご来場の皆様に **Yamato** のブランドイメージと意気込みをアピールし、東5ホールの40小間に、企業のイメージカラーであるブルーを基調として商品展示を行いました。

今回は、初めての試みとなる出品社によるセミナーが開催され、当社も『組合せはかり(データウェイ)によるリモートメンテナンス』と題し、講演発表に参加致しました。



今回の展示は“充填・検査ラインのトータルソリューション”をコンセプトとして、自動機器製品は、前回のヤマトニュース(No.389)で新商品紹介をさせて頂きました「データウェイ COMPACT」・「X線異物検査装置」・「金検一体形オートチェッカCSH-LM」・「ケースパッカーFCP-550V」・モデルチェンジの「欠品用オート



チェッカCMH」のラインにて、計量機からケーサー迄を一体化した包装・検査ラインをシステム展示・運転、普通はかり製品は、高精度型体脂肪計「ボディランナー」・「ラベルプリンタSP-509」・デジタル台はかりDP-6301」、産機製品は「小容量新形オーガ充填機」を展示・運転し、会期中に多くの引き合いを戴く事ができました。

これもひとえに皆様のお陰であると深く感謝いたしております。

5日間の開催期間で国内外、約12.5万人(前回13万人)の総入場者があり、当社ブースにご来場頂いた方は約1500人(前回1800人)と不景気を反映してか、共に前回は若干下回った結果となりました。

この展示会で当社ブースにご来場頂きました皆様より戴きました、貴重なご意見や情報につきましては、今後製品に反映できますよう取り組んで参ります。



次の開催は、2005年10月18日～10月22日が予定されています。

この間、当社の品質方針でもあります「お客様に満足される製品を提供」できますよう精進し、次回にはお客様により喜んで頂ける商品の企画・製作を行い、展示発表いたします事をお約束申し上げます。

PACK EXPO 2003

2003年10月13日～15日の3日間、アメリカ合衆国ネバダ州ラスベガス市にあるコンベンション・センターに於いて Pack Expo 2003, Las Vegasが開催されました。この展示会はアメリカでも大規模な展示会のひとつであり、同コンベンション・センターの2ホール、3フロアを使用して開催され、計量機器、包装機器、周辺機器等のメーカー大小約1,100社の出展がありました。大和製衡の現地法人ヤマト・コーポレーションもこの展示会に参加し、下記の機器を展示しました。

データウェイ	アルファ・プラス ADW-514A シグマ・プラス ADW-214SD シグマ・プラス ADW-714SW
ケースパッカー オートチェッカ	FCP-550V CSH22L-FO/CE2100

会場はラスベガス中心街から少し離れたところに位置しているにも拘わらず多くのお客様が来場され、ヤマト・コーポレーションのブースも大変多くのお客様が訪れ大盛況でした。

どの製品に関しても来訪されたお客様から多くの問い合わせや引き合いを頂きましたが、中でも、ケース・パッカーに対して来場者の関心が非常に高く、デモ運転を行うと足を止めて注意深く見物するお客様も多数ありました。これら最先端技術を展示することにより、計量機はもちろんのこと周辺機器につきましても、当社の技術力の高さや製品クオリティの高さを、お客様に知って頂く良い機会になりました。

今後も益々海外に飛躍する **Yamato** にご期待下さい。

デジタル式上皿自動はかり UDS-1V

デジタル上皿自動はかりは、各社のバラエティに富んだ商品の品揃えに加え、低価格化傾向が拍車をかけ、メカ式に替わる汎用タイプの計量器として毎年成長を続けております。

引き続き成長市場にあると予測されますはかりは単機能でありましたが、**Yamato**では一歩進んで付加価値機能を加えた高機能商品「UDS-1V」をご提案致します。

特長

環境(風・振動)の影響があった場合、重量のチャツキを抑えるための振動除去機能を搭載。

見やすい大型表示(文字サイズ高さ30mm)。

パ-グラフ表示を採用したチェッカ機能付、定量詰め作業の歩留まり向上に一役。

電池寿命はマンガンで1,000時間。

作業に適した本体高さ(載皿の高さ110mm)。

軽量で持ち運びしやすい、電池込みで2.6kg。



ひょう量	3kg	6kg	15kg	30kg
目量	1g / 2g	2g / 5g	5g / 10g	10g
表示分解能	1 / 1500			1 / 3000

ラベルプリンタ SP-509シリーズ

単体プリンタは個食化・消費者ニーズの多様化により、少量多品種生産の食品が増加する中、サプライコスト削減を目的とした需要が見込めます。

SP-508シリーズの後継機として、タッチパネル付きカラー液晶の搭載など、さまざまな面でグレードアップした『SP-509シリーズ』を発売いたしました。

ターゲット顧客	市場規模	市場を取り巻く環境
食料品製造業	57,557社	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー-物質を含む食品に関する表記の義務化 ・プラスチック製容器包装と紙製容器包装への識別表示義務化 ・食品のトレーサビリティシステムの導入
農畜産物・水産物卸売業	35,653社	<ul style="list-style-type: none"> ・食品のトレーサビリティシステムの導入
食肉小売業	19,167社	<ul style="list-style-type: none"> ・食品のトレーサビリティシステムの導入 ・プラスチック製容器包装と紙製容器包装への識別表示義務化
菓子・パン小売業	84,805社	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー-物質を含む食品に関する表記の義務化 ・プラスチック製容器包装と紙製容器包装への識別表示義務化

市場規模は、総務省統計局の事業所・企業統計調査結果の事業所数(平成13年)を参照

特長

タッチパネル付きカラー液晶を搭載し、画面が見やすく操作が簡単

牛の個体識別番号を正確に伝達するための「食肉標準物流バーコード」を標準装備
識別マークなどのイメージデータを99種類記憶でき、品名(PLU)ごとに最大3種類のイメージデータのリンクが可能

記憶媒体にCFカード採用し、カード間でのデータコピーが可能

12ドット/mmの高密度サーマルヘッド搭載で鮮明な印字

Yamato DPシリーズ(デジタル台はかり)に接続可能 SP-509XII対応

(CFはサンディスク社の商標です)



オーガ充填機 FGL(P)-014AA

本機は、粉末又は顆粒を一定量ずつ、袋・ビン等に詰めるオーガ式充填機です。充填形式は、パルス式、グロス式、ネット式のいずれにも対応できます。下記に代表的な特長と充填形式の仕様を表記します。

小形軽量化を実現しました。

分解・洗浄が容易です。

多品種・少量生産に最適です。

異物混入防止対策を施しています。

食品・医薬・化学業界の流動性及び噴流性が高い微粉体品に最適

パルス式	グロス式
充填範囲 : 10g~2,000g/袋	10g~2,000g/袋
能力 : Max 45袋/分	Max .15袋/分
精度 : Max ±10g(1kgに対して)	Max ±1g(1kgに対して)
型式 : FGP-014AAS	FGL-014AAS
制御方式 : パルス制御	無段階サーボ制御



オートチェッカ CUH60F

1.高精度、高能力

応答性、耐衝撃性、温度特性が向上した超高精度、高剛性センサの採用により、高速で高精度の選別を提供します。

2.簡単メンテナンス・簡単操作

コンベヤ及び搬送ベルトの工具無しワンタッチ脱着ができますので、清掃性の向上、作業時間の短縮が可能となりました。

指示計はタッチパネル式で、対話方式で設定しますので、誤設定、設定もれを防ぐことができます。

3.HACCP対応機

パイプ構造であり、被計量物が万一落下しても滞留しにくい構造です。

架台、制御ボックス等外装は全てステンレスで構成されており、塗装部が一切無く、医薬品製造ラインのGMPIにも対応します。

4.フレキシブル設計

コンベヤ駆動用にDCモータを使用することにより、ベルト速度の可変範囲が広く、幅広い能力対応が可能になりました。またベルト



の速度変更は指示計画面からの設定のみで可能です。

指示計は、ポール取り付け方式だけでなく、独立しても設置できるようにしています。このことにより、操作指示部の設置場所に関し、顧客のご要望に応じた選択を提供することができます。(ロケーションフリー)

5.先進のテクノロジーの採用

品物と計量速度に応じた、最適なフィルタと計量タイミングを自動的に決定・記憶させ(オートチューニング機能)多品種の計量にも簡単な操作で高精度な計量を実現します。多様な自己診断機能により、無駄な時間を要せずに復帰することができます。

ネットワーク(アークネット・イーサネット)使用により、複数機器の接続が可能になります。

6.世界標準機

日本語、英語、中国語表示標準装備

(ワンタッチ切り替え)

トランスマルチタップ

(AC100,115,200,220,230,240V)

『総額表示方式』がスタートします

総額表示方式(消費税を含んだ価格)の概要

平成16年4月から、消費者に対する値札・広告などにおいて、価格表示を行う場合には、消費税相当額(含む地方消費税相当額)を含んだ支払総額の表示を義務付ける「総額表示方式」がスタートします。

1 「総額表示」の対象:

消費者に対して、商品やサービスを販売する課税事業者が行う価格表示が対象となります。具体例としては下記の場合が考えられます。

- 商品陳列棚、値札、商品カタログの価格表示 商品のパッケージの価格表示
- 新聞折込広告、ダイレクトメールなどの価格表示
- 新聞、雑誌、テレビ、インターネットホームページなどの価格表示 ポスターなどの価格表示

2 「価格表示」について

いろいろな価格の表示方法が考えられますが、値札に消費税相当額を含めた価格を表示する事がポイントになります。

「総額表示」に該当する表示例は下記の通りです。

例) 1,029円(税込) 1,029円(税抜き価格980円)

「総額表示」に該当しない表示例は下記の通りです。

例) × 税抜980円+税 × 980円税抜 × 税抜980円 税49円

3 適用期限について

総額表示義務は、平成16年4月1日から適用されますので、対象となる取引を行う事業者は、平成16年4月に向けた対応が必要になります。



ヤマトハカリシステム(株)紹介

明けましておめでとうございます。

ヤマトハカリシステム株式会社は、東海北陸地区の自動機器製品のシェア拡大を目的に、2003年4月1日付で、中日本支店自機部門とバルダン機器株式会社を統合し設立された新しい会社です。場所は、名古屋市の中心より岐阜方面へ約10kmの郊外に位置し、近くには織田信長ゆかりの城「清洲城」があります。建物は軽量鉄骨造2階建て、お世辞にも「新しい」とか「近代的」とは言えませ



んが、構内にはデータウェイや前後装置を展示 / メンテナンスするスペースを持ち、計量機以外の周辺機器(供給装置、コンベヤライン、包装機等)の販売やメンテナンスも積極的に行っています。

メンバーは、将来性のある新人、営業2名・メンテナンス2名が入社し、総員19名(うち女性3名)となり、平均年齢も若返り、職場は活気に満ちています。

当社は **Yamato** グループでは、「未っ子」の位置付けとなりますが、早期に独り立ちをし、グループに貢献できるよう目標に向かい邁進いたしますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。



〒452-0962 愛知県西春日井郡春日町大字下之郷字中沼88
TEL:052-401-3522 FAX:052-401-3523

信頼・技術・創造

ヤマト 大和製衡株式会社

URL : <http://www.yamato-scale.co.jp/>

本社営業	〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号	TEL:078-918-5555
普通はかり販売企画	〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号	TEL:078-918-5577
東日本支店	〒113-0033 東京都文京区本郷1丁目28番23号	TEL:03-3815-5223
中日本支店	〒456-0018 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2番1号	揖保ジャパン熱田ビル1階 TEL:052-683-1031
大阪支店	〒550-0005 大阪市西区西本町1丁目3番10号	第五富士ビル9階 TEL:06-6538-4101
札幌営業所	〒062-0904 札幌市豊平区豊平四条7丁目2番1号	アーバンコート47 1階 TEL:011-842-7877
千葉営業所	〒264-0025 千葉市若葉区都賀3丁目19番1号	パールヴィレジ106 TEL:043-214-3920
九州営業所	〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目3番2号	博多エイトビル1階 TEL:092-471-1921